

英語科学習指導案

活動場所 本校舎3階 3年1組教室

生徒数 3年1組 男子20名 女子17名 計37名

指導者 T1 教諭 久保 孝明
T2 教諭 池本 源二郎

1 単元

NEW HORIZON 3 Unit5 「Cell Phones – For or Against?」

2 単元について

本単元は、一般的によく利用されている携帯電話について、その使用の賛否を議論することを題材とし、自分の意見を的確に伝えることをねらいとしている。電話の歴史についても触れており、現在の携帯電話の利便性や、使用モラルなどについて考えさせられる教材であり、生徒にとって最も関心のある話題の一つでもある。

言語材料としては、「現在分詞及び過去分詞の形容詞的用法」及び「間接疑問文」を学習できるようになっている。その中で、「現在分詞及び過去分詞の形容詞的用法」では、英語特有の後置修飾という文の構造にも慣れさせたい。これらの言語材料と2年次に学習したI am for(against)～のような賛成・反対を表す表現等も活用し、身近な題材について賛否やその理由を述べるようにしたい。

本クラスは、英語学習に対する意欲の高い生徒もいるが、自主的に英語学習に取り組もうとすることに對して苦手意識をもっている生徒もいる。また、授業中に行う表現活動などで、自分の意見をみんなの前で述べたりする姿もあまり見られない。さらに、NRTの小問分析によると、「適切な語句を使って書くこと」と「伝える内容を整理して書くこと」においては全国平均を大きく下回っており、「表現」の中でも特にまとまりのある文を適切な語句や表現を用いて書くことを苦手としていることが分かる。

そこで、本単元を指導するに当たっては、身近な題材について、生徒の興味・関心を高めるような活動を工夫することで、自分の意見を相手に伝えようとする意欲を高めるとともに、自分の意見を英語で適切に表現する練習を重ねることで、実践的コミュニケーション能力の育成に努めたい。

3 単元の学習目標

- (1) 基本的な表現を用いて、身近な題材についての賛否について積極的に自分の意見とその理由を表現しようとする。
- (2) 身近な題材について、理由を含めて自分の意見を相手に伝えることができる。
- (3) 身近な題材についての英文を聞いたり読んだりして、内容を理解することができる。
- (4) 現在分詞及び過去分詞の形容詞的用法及び間接疑問文の意味・用法を理解することができる。

4 単元の学習計画及び評価規準

時間	学習の流れ	主な指導の手立て及び言語領域との関連
1	<p>【目標】単元の学習目標を理解し、学習の見通しをもとう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本単元の目標の提示 「理由を添えて自分の意見を発表しよう」 ・スキーマ形成 	<p>◆ 単元の内容に興味・関心をもつことができる。</p> <p>「聞くこと」→「話すこと」</p>
2	<p>Starting Out</p> <p>【目標】写真やお気に入りのものを紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞及び過去分詞の形容詞的用法の理解と練習 ・本文の要点把握と音読練習 ・現在分詞及び過去分詞の形容詞的用法を用いた表現活動 	<p>◆ 電話の歴史の概要文を理解できる。</p> <p>「読むこと」</p> <p>◆ 現在分詞及び過去分詞の形容詞的用法を用いて写真や物を紹介できる。</p> <p>「書くこと」→「話すこと」</p>

3	<p>Dialog</p> <p>【目標】携帯電話の使用についてスキットを作成しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 間接疑問文の理解 ・ 本文の要点把握とペアでの音読練習 ・ 中学生の携帯電話の使用を題材とした表現活動 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 気持ちをこめて対話をペアで音読できる。 「読むこと」 ◆ 携帯電話の使用について対話形式のスキットを作成することができる。 「書くこと」、「話すこと」、「聞くこと」
4	<p>Reading for Communication 1</p> <p>【目標】携帯電話について自分の考えをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の要点把握 ・ 携帯電話について自分の意見を英語で表現する活動 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 携帯電話に関して、英文の内容を理解し、それぞれの意見を正しく捉えることができる。 「読むこと」→「話すこと」 ◆ 携帯電話について意見を英語でまとめ、発表することができる 「書くこと」→「話すこと」
5 (本時)	<p>Reading for Communication 2</p> <p>【目標】携帯電話の使用について注意すべきことをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の要点把握 ・ 携帯電話の使用について英語で表現する活動 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 携帯電話に関して、英文の内容を理解し、それぞれの意見を正しく捉えることができる。 「読むこと」→「話すこと」 ◆ 本文中の意見を参考にしながら、自分の意見をまとめ、発表することができる。 「書くこと」→「話すこと」
6	<p>発展的な表現活動</p> <p>【目標】中学生の携帯電話の使用について自分の意見を述べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生の携帯電話の使用を題材とした英文完成 ・ 生徒の作成した英作文をもとにした面接テスト（発表） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中学生の携帯電話の使用について、最終的な賛否や、その理由を含めて正しい英文で表現することができる。 「書くこと」→「話すこと」 ◆ 生徒の英作文の内容について、教師との英語による簡単な応答をしようとする。 「聞くこと」、「話すこと」
7	<p>単元のまとめ</p> <p>【目標】Unit 5 のまとめをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重要文・新出語句の確認・復習 ・ 本文の内容の確認・復習 ・ 単元テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 単元テストを通して新出語句や重要表現の理解度を確認するとともに、定着を図る。 「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」

5 本時の実際（5／7）

(1) 題材名

Unit5 Cell Phones – For or Against? Reading for Communication

(2) 学習目標

- ア 携帯電話の使用について、自分の意見を積極的に表現しようとする。
- イ 携帯電話の使用について、自分の意見を適切な語彙や表現を用いて表現することができる。
- ウ 携帯電話の使用に関して、英文の内容を理解することができる。
- エ 意見に対する賛否やその理由を表す語彙や表現を理解することができる。

(3) 授業設計の視点

- ア 理解から表現への言語活動の機会を増やす学習指導の工夫
本文の内容を理解させるだけでなく、読み取った内容についてQ&Aを行ったり、感想を言わせたりするなどして、自己表現活動へとつなげていく。
- イ まとまりのある内容を扱った言語活動の工夫
携帯電話の使用について、生徒自身の考えや意見を英語で発表させるようにする。その際、既習の語彙や表現・重要な文法事項などを適切に活用できるようにする。

(4) 授業の展開

過程	時間	学習活動	指導上の留意点と評価（◆は評価項目）
導 入	7分	1 あいさつをする。 2 小テストに取り組む。 3 本時の目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 目標：携帯電話の使用について注意すべきことをまとめよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るい雰囲気です授業を始められるようにする。 ・ 前時までに学習した本文を並べかえる問題と語句に関する問題を出題する。 ・ 前時の学習内容を踏まえながら、目標を提示する。
展 開	40分	4 新出語句の意味を確認し、語句を用いた英作文に取り組む。 5 本文の内容を確認し、重要な表現について理解する。 6 ワークブックの問題を解く。 7 本文の内容に関する教師の質問に答える。（携帯電話について） 8 携帯電話を使用する際、注意すべき点を考え、英語で要点をまとめる。 9 作成した英文を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発音練習後、語句を用いた英作文に取り組みさせることで、語句の用法や使用場面についても理解させる。（英作文の解答については、単元の最後〈第7時〉に行う。） ・ 各自で予習してきた内容が正しいか確認させる。また、重要な表現については、板書されたものをワークシート上に記入させる。（最後に本文の音読練習も行う。） ・ 本文の重要表現について理解を深めさせる。 ・ 本時に取り扱った文法事項については、語順に着目させながら理解を深めさせる。 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> 視点ア 理解から表現への言語活動の機会を増やす学習指導の工夫 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文中の人物になったつもりで、教師の簡単な質問に答える。 ◆ 携帯電話に関して、英文の内容を理解し、それぞれの意見を正しく捉えることができたか。 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> 視点イ まとまりのある内容を扱った言語活動の工夫 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを用いて、注意すべき点をまとめさせる。 ・ 英文を作成する際、語順や既習表現に気を付けさせる。 ・ 作成した英文は、正確に読めるまで音読練習させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師や生徒相互で簡単な対話をする中で、自分の意見を述べさせるように工夫する。なお、基本的な対話表現については、前時までに指導しておく。 ◆ 本文中の意見を参考にしながら、自分の意見をまとめ、発表することができたか。
終 末	3分	10 次時の学習内容を知る。 11 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習の内容や宅習課題も明確に示しておく。 ・ 元気よくあいさつする。